

STAGE+を楽しむ(241)(HP 収載)

—ギレリスのピアノリサイタル—

1. 始めに

前報(240)に引き続き、STAGE+のギレリスのピアノリサイタルの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のギレリスのピアノリサイタルの演奏を選びました。

エミール・ギレリス リサイタル

コンサート

オシアッハ修道院付属教会 1971 年

収録日: 1971 年 8 月 13 日

オーストリア南部ケルンテン州にあるオシアッハ湖畔の修道院付属教会などを主な会場として、1969 年より開催されている夏の音楽祭「ケルンテン（※英語ではカリンシア）の夏」からのこちらの映像は、もう 1 人の“巨人”リヒテルと共に 20 世紀ロシア・ピアノ界を代表するヴィルトゥオーゾ、エミール・ギレリスの全盛期（54 歳）の演奏を撮影した貴重なものです。ドイツ・グラモフォンへのデビュー盤となった 1970 年ザルツブルクの『モーツァルト・リサイタル』で披露したピアノ・ソナタ第 8 番イ短調やパイジェルロの主題による 6 つの変奏曲、幻想曲ニ短調、そして 1972 年より始まるギレリス最大の遺産「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ」シリーズの第 1 回收録曲であった第 21 番《ワルトシュタイン》など、“鋼鉄のタッチ”と謳われたその至芸を語る上で欠くことのできないラインナップを、この機会にぜひその目でご堪能ください。

ソリスト:

エミール・ギレリス (ピアノ)

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

ピアノ・ソナタ第 8 番イ短調 K. 310

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

パイジェルロの主題による 6 つの変奏曲 ヘ長調 K. 398

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 幻想曲ニ短調 K. 397

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

ピアノ・ソナタ第 21 番ハ長調 op. 53 《ワルトシュタイン》

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン ピアノ・ソナタ第 28 番イ長調 op. 101

ロベルト・シューマン 夜の曲 op. 23 より第 4 曲：素朴に

フェリックス・メンデルスゾーン 無言歌集 op. 67 より第 4 曲：紡ぎ歌



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、プログラムの前半は、ルーター→スイッチングハブ間とスイッチングハブ→PC 間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、後半は OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

モーツァルトのピアノ・ソナタ第 8 番は、お馴染みの曲です。

モーツァルトのパイジェルロの主題による 6 つの変奏曲は、初めて聴く曲です。

モーツァルトの幻想曲ニ短調は、これもお馴染みの曲です。

これら、ギリシスのモーツァルトは、美しい表情も漂わせますが、ギリシスらしい力強いピアノリズムも見せています。

ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第 21 番《ワルトシュタイン》とベートーヴェンのピアノ・ソナタ第 28 番は、お馴染みの曲です。ギリシスのベートーヴェン、特にワルトシュタインは“鋼鉄のタッチ”と言われるギリシスの面目躍如の演奏です。

シューマンの夜の曲 op. 23 より第 4 曲とメンデルスゾーンの無言歌集 op. 67 より第 4 曲は、初めて聴くものでアンコール曲のようです。前者は静かなしみじみとした曲、後者は速いパッセージの小品です。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX を適用した結果、ギレリスらしい力強いタッチを伺いすることができました。

以上